

# 講座内容 & スケジュールについて オンラインでの開催となります

■ 開催日時などについて **Web開催になります!** ※各回、同じ内容です。ご都合のよい日時をお選びください。

開催日時

**2026年3月24日(火)・25日(水)・26日(木)**  
 開催時間: 全日13:00~15:30(ログイン開始: 開始時刻30分前~)

※本セミナーは、セミナーの特性上、千葉県松戸市に拠点のある法人様のご参加はお断りさせていただきます。  
 ※本セミナーは、2025年12月に船井総研東京本社で開催したセミナーの録画配信です。

申込期限

・銀行振込み:  
 開催日6日前まで  
 ・クレジットカード:  
 開催日4日前まで

※祝日や連休により  
 変動する場合がございます。

金額

■ 一般価格(1名様) **税込22,000円(税抜20,000円)**  
 ■ 会員価格(1名様) **税込17,600円(税抜16,000円)**

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

講座内容

## 第1講座 園児募集 総決算~2025~

株式会社船井総合研究所 子ども園・幼稚園チーム 遠藤 めぐみ

1年間を通じた園児募集の成果が表れる11月。今年度の募集結果を踏まえ、様々な園でのうまくいったこと・うまくいかなかったことをルール化し、お話しいたします。

本講座の見どころ  
 ・2025年度園児募集結果の速報  
 ・募集の成果が出ている園に共通していること



## 第2講座 ゲスト講座 みやこ幼稚園の歩み~バージョンアップを続ける園経営~

学校法人叡智学園 理事長 柳内 和幸氏

入園者28名減少の翌年、入園者34名増加のV字回復を達成!以降8年間入園者100名越えを達成された経営手法をお話しいただきます。

本講座の見どころ  
 ・四方良しを理念に掲げた園経営  
 ・送迎保育ステーションの運用  
 ・20クラス展開する0~2歳児教室  
 ・小規模保育園と連携した優先入園制度  
 ・子育てカフェの新設



## 第3講座 募集力を高めるために実施したい5つのこと

株式会社船井総合研究所 子ども園・幼稚園チーム 遠藤 めぐみ

2025年度の募集結果や成功している園での事例を踏まえ、次年度に向けて進めたいアクションをお話しいたします。

本講座の見どころ  
 ・広報力の強化  
 ・商品力の強化  
 ・組織体制の強化  
 ・ナチャーリングの推進  
 ・独自性の追求



## 第4講座 まとめ講座

株式会社船井総合研究所 子ども園・幼稚園チーム リーダー 高橋 叡功

本セミナーのまとめとして、成果に繋げる園児募集のために取り組むべき点と今後の時流を踏まえて経営において留意すべき点をお伝えします。



入園者28名減少の翌年、**34名増加**の  
**V字回復達成!** さらに2018年以降、  
**毎年入園者100名を達成!**

ご好評につき  
**オンライン  
 開催決定!!**

幼稚園・認定こども園向け

# 園児募集セミナー

厳しい時代にあっても**歴史ある園を**  
**“守り抜く”経営**をしていきませんか?



本セミナーで  
 お伝えしたいこと

- 01 今年度の募集動向振り返りと次年度に向けて行いたい準備
- 02 入園者100名を達成し続けているみやこ幼稚園の取り組み
- 03 少子化時代に募集好調な園が実践していること

特別ゲスト講師  
 プロフィール

学校法人叡智学園 理事長。千葉県松戸市にてみやこ幼稚園(私学助成園)を経営。考える力を養う独自の教育「叡智教育®」を園の特色とし、毎年入園者100名超えを達成。

特別ゲスト講師

学校法人叡智学園  
 理事長 柳内 和幸氏

**お申込みはこちらからお願いいたします!**

スマホ・タブレットの方は右記のQRコードを読み込んでいただきWebページよりお申込みいただけます。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/138534>

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

TEL: 0120-964-000 (平日 9:30 ~ 17:30)

船井総研セミナー事務局 E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

お問い合わせ No. S138534



Web  
 開催!!  
 開催日時

**2026年3月24日(火)・25日(水)・26日(木)**  
 全日13:00~15:30(ログイン開始: 開始時刻30分前~)

※各回、同じ内容です。ご都合のよい日程をお選びください。

【オンライン配信】幼稚園・認定こども園向け 園児募集セミナー

お問い合わせ No.  
**S138534**

主催

サステナブルグロースカンパニーをもっと。  
**Funai Soken**

株式会社船井総合研究所  
 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号  
 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー 35階

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索マークから [お問い合わせNo.] を入力してください)

138534



セミナー  
内容を  
一部紹介!

# みやこ幼稚園の歩み ~入園者100名を集め続けるために~

みやこ幼稚園が立地しているのは、「共働き子育てしやすい街」として評価を受ける千葉県松戸市  
しかし、そんな松戸市も出生数は減少を続けており、園児を集め続けることは決して簡単な道のりではなかった

## ゲスト法人のご紹介

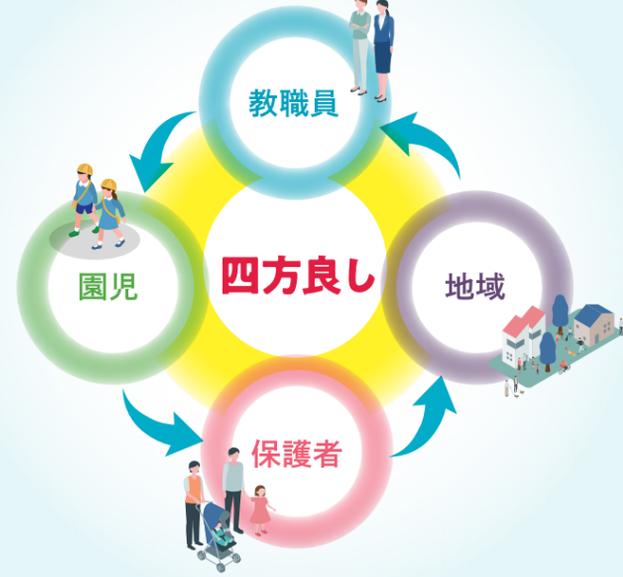
千葉県松戸市に所在するみやこ幼稚園。独自の「叡智教育®」で子どもたちの考える力を育む教育を展開。少子化の厳しい時代にあっても、様々な経営努力によって、今なお300名を超える園児が通園している。「四方よし」を経営理念に掲げ、「教職員よし、園児よし、保護者よし、地域よし」を目指した経営を行っている。

**法人沿革**

昭和40年4月	みやこ幼稚園 開園
昭和58年4月	学校法人 叡智学園 設立
令和 3年4月	送迎保育ステーション イースト・リンク・マツド 開設
令和 4年7月	イースト・リンク・マツド-2nd 開設

## 叡智学園の「四方よし」

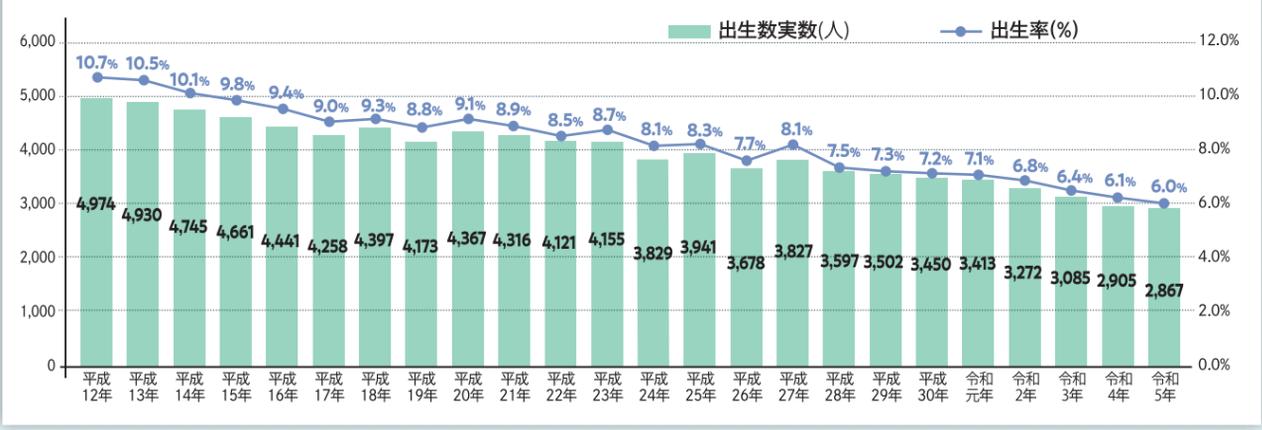
「教職員よし、園児よし、保護者よし、地域よし」を実践し、日本の未来を担う子ども達の成長をサポートする。



## 松戸市について

「共働き子育てしやすい街」として評価を受ける千葉県松戸市だが、出生数は減少が続いている。ここ数年のうちに、園児募集停止や閉園になった幼稚園もあった。「共働き子育てしやすい街」であっても厳しい少子化の現実があり、それは幼稚園経営にも影響を及ぼしている。

### 松戸市 出生数推移



出典:千葉県衛生統計年報より船井総合研究所作成 (<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenshidou/toukeidata/kakushukousei/eisei/index.html>)

## みやこ幼稚園の実践事例3選

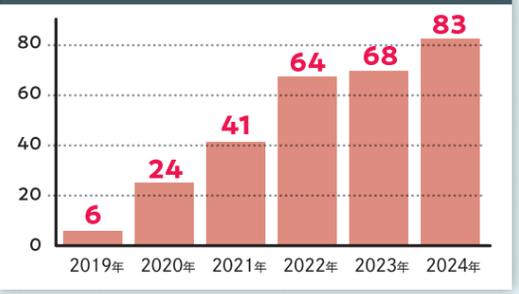


### 事例01 送迎保育ステーションの運用

通勤時に松戸駅前でお子様を預けられる「駅前一時預かり所」として、松戸駅の東口と西口の送迎保育ステーションと連携。送迎保育ステーションの運営についても同法人の職員が担っている。



みやこ幼稚園のステーション利用者数の推移



### 事例02 20クラス展開する0~2歳児教室

月	1歳児教室 実施例(変更あり)
5月	お友達づくり/当園バックを作ろう
6月	絵具遊びで梅雨を楽しもう!
7月	手形アートで手作りうわ製作
8月	
9月	あひるのリンリンボールを作って遊ぼう
10月	仮想してハロウィンを楽しもう!
11月	落ち葉アートを作ろう!
12月	クリスマスパーティーをしよう
1月	今年のカレンダーづくり
2月	リトミックで音楽遊びを楽しもう!
3月	修了式/記念品づくり

お子様同士はもちろん、保護者様同士の交流などを深めていただく場として0~2歳児教室を運営。利用ニーズに合わせて全20クラスを展開している。

一般からの入園希望者は、希望者多数の場合抽選となるが、0歳児教室参加者は1歳児教室へ、1歳児教室参加者は2歳児教室へ、2歳児教室参加者は年少組へと、優先的に入園できる優先制度枠を用意。



### 事例03 子育てカフェの新設

2025年度から、地域子育て支援のための子育てカフェを園内にオープン。子育て中(出産前~2歳児)の保護者様が、飲み物やお菓子と一緒にホッと一息つける場所となっている。各回6名の少人数制で、ゆったりゆったり交流を行うことができるサードスペースを提供している。



セミナー  
当日に  
お伝え  
する内容

- ▶ なぜ今が「園児募集立て直しのラストチャンス」なのか?
- ▶ 園経営において「守るべきもの」と「変えるべきもの」
- ▶ 保護者参加型の園外イベントの見直し
- ▶ 預かり保育の拡大と正看護師の登用
- ▶ 小規模保育園と連携した「連携園推薦制度」
- ▶ 入園希望者をシステムで管理する方法
- ▶ 教職員の業務効率化を目指したツール導入
- ▶ 教職員の年間休日150日以上の実現(※昨年実績163日)
- ▶ 園児募集や職員採用における年間広報費の実態
- ▶ デジタル黒板やタブレットを活用した教育

